

ライオンズクラブ国際協会



330-A地区

2006-2007

第53回年次大会

プログラム

LIIONS CLUBS
INTERNATIONAL



開催日：2007年4月21日（土）

会 場：東京プリンスホテル

第53回年次大会



< 年次大会テーマ >

原点回帰・改革と革新の

WE SERVEで

明るく、楽しく、元気よく

目 次

大会会長挨拶	4
大会委員長挨拶	5
内閣総理大臣祝辞	6
国際会長祝辞	7
国際理事祝辞	8
国際理事祝辞	9
国際理事祝辞	10
元国際理事・第二国際副会長立候補予定者祝辞	11
330複合地区ガバナー協議会議長祝辞	12
330-B地区ガバナー祝辞	13
330-C地区ガバナー祝辞	14
ご来賓名簿	15
代議員会次第	16
大会式典次第	17
ガバナーズ・アワード受賞クラブ・受賞メンバー一覧	18
CSF II アワード受賞クラブ一覧	24
LCIF メルビン・ジョーンズ・フェロー受賞メンバー一覧	25
物故ライオン	27
記念講演者紹介	29
記念演奏紹介	30
アトラクション紹介	31
各分科会会場のご案内	32
大会運営組織表	33



常陸宮殿下



常陸宮妃華子殿下

御 挨 拶



本日は、常陸宮同妃両殿下の御台臨の下、このように大勢の皆様のご臨席を賜り、格式と伝統あるライオンズクラブ国際協会330-A地区第53回年次大会が盛大に挙行できますことは、誠に名誉なことであり、330-A地区207クラブ、5,531名のメンバーを代表致しまして衷心より感謝申し上げます。

私は今年度のガバナーズ・テーマを『原点回帰・改革と革新のWE SERVEで明るく、楽しく、元気よく』とさせて頂き、単一クラブによるアクティビティを尊重し、キャビネット主導のアクティビティは極力控えて参りました。

そして、選挙公約に掲げさせて頂きました『リジョン及びゾーンの再編成』を綱川委員長初め委員会の皆様並びに各リジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソンの皆様とメンバー各位の絶大なるご支援・ご協力を賜り、実現させる事が出来たこと、誠に感謝に耐えません。大変有難うございました。

また、『ライオンズ総合事務所』の件につきましても、先月開催されました第3回キャビネット会議を経て、本日の政策・会則・長期計画・建設計画分科会において代議員の皆様にご審議を頂き、必ずや近い将来に実現の方向に進むものと確信を致しております。

現在、誠に残念ながら、ライオンズメンバーの減少傾向が全国規模で続いており、330-A地区で1万名になんなんとしたメンバーも現在5,500名までに減少致しております。

本日の第53回年次大会を機会に、ライオンズクラブ創設時の原点に立ち帰り、創設者メルビン・ジョーンズの初心を今一度思い起こそうではありませんか。そして、今こそ、更なる躍進の為に全てのメンバーの叡智を一つに結集する時であると私は考えます。

結びにあたり、地区運営にご協力賜りました、キャビネット役員、本年次大会の大会役員、並びに各クラブ会長・幹事をはじめとする会員の皆様にご心より御礼を申し上げますと共に、ご健勝とご多幸を心よりご祈念致しまして、ご挨拶とさせていただきます。

第53回年次大会会長
330-A地区ガバナー

森山 勇

御 挨 拶



本日ここに、常陸宮同妃両殿下の御台臨を賜り、ライオンズクラブ国際協会330-A地区第53回年次大会が盛大に開催できますことは我々ライオンズクラブメンバー一同にとりまして無上の慶びであり、誠に光栄であります。また、多くのご来賓の方々にご臨席賜り盛栄に開催できますこと、偏に皆様のご支援ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

私たちはライオンズクラブのモットーである『We Serve』に賛同し、地域への奉仕、広くは世界平和の為に奉仕する目的を掲げライオンズクラブに入会致しました。それぞれのクラブが活動を通して得られるメンバー間の強い友情と絆に誇りを持ち、奉仕活動に従事できる事に心より感謝する次第でございます。

今年度、森山ガバナーは『原点回帰・改革と革新のWE SERVEで明るく、楽しく、元気よく』をガバナーズ・テーマとしております。そこで、単一クラブの尊重と支援を重要課題と位置づけ、キャビネット主導ではなく、クラブ主導のアクティビティ推進に努めると共に、キャビネットにおいても様々な経費削減を図り、大きな成果を挙げて来られました。これこそがキャビネット本来の在り方であり、皆様にも高い評価を得られるものと確信するところであります。

年次大会は森山ガバナーの集大成の場であり、『新しい時代に相応しい330-A地区を創る』べく大会であります。我々330-A地区はこれまでも大きな発展を遂げてまいりました。本大会においても意義ある代議員会と叡智溢れるシンポジウムを開催する為『明るく、楽しく、元気よく』をモットーに当委員会を進めてまいりました。

本日ご出席下さいました、皆様におかれましても何卒ご理解とご協力を心よりお願い致します。

結びにあたり本大会を支えて頂きました大会役員並びに部会員の皆様、また大会にご参加下さいました各クラブメンバーの皆様方に、心より御礼申し上げご挨拶とさせていただきます。

大 会 委 員 長

矢島真治

祝 辞



ライオンズクラブ国際協会330-A地区の第53回年次大会が開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

ライオンズクラブが、半世紀以上の長きにわたって、地域社会における奉仕活動や国際協力活動に積極的に携わってこられたことに、心から敬意を表したいと思います。

私は、総理就任以来、『美しい国』づくりを進めてまいりました。美しい国の礎をなすのは人であり、そのたたずまいの美しさであると思います。昨年改正した新しい教育基本法においては、教育の目標として公共の精神を養うことの重要性を明記しています。

次世代を担う子供達の教育は、社会総がかりで取り組むことが必要であり、ライオンズクラブの皆さまが、いじめ問題や薬物乱用防止などの課題に真摯に向き合い、地域の青少年の健全育成に向けた取組を進められていることは、大変心強いものです。

『自由を守り、知性を重んじ、われわれの国の安全をはかる』とのライオンズクラブの精神は、大変美しいものであり、その輪がさらに広がって行くことを期待しております。

ライオンズクラブの今後益々のご発展と本日ご参集の皆さまのご健勝とご活躍を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

内閣総理大臣

安倍晋三

祝 辞



330-A地区第53回年次大会にお集まり頂きましたメンバーの皆様に心からご挨拶を申し上げます。

年次大会は皆さまが一堂に集い、クラブで成し遂げた成果についての情報を共有し、既存の計画の前進や今後の計画や会員増強等について、これから何を成すべきか、新たな発想を提案するまたとない機会であります。

年次大会は国際協会と皆様のクラブの目指すゴールをじっくりと見据え、ゴールに到達するための創造的で新しい方法について話し合う場です。すでに私たちは多くのことを成し遂げて来ましたが、まだ多くの人々が私たちの奉仕を必要としています。

今大会に進んで参加され奉仕の志を新たにすることは、地区年次大会を成功に導く大切な要素となります。

更なる皆様の情熱が、世界最大の奉仕団体を成功に導きます。
皆様の益々のご発展とご幸福をお祈りいたします。

国 際 会 長

ジ ミ ー ・ M ・ ロ ス

A handwritten signature in cursive script that reads "Jimmy M. Ross". The signature is written in dark ink on a light background.

祝 辞

刻まれた歴史と人々の思いを込めて更なる前進を



尊敬するガバナーをはじめとする貴地区の皆さん、本日は第53回地区年次大会が歴史と伝統に輝くこの地において盛大に開催されます事は誠に喜ばしい限りであります。

この1年、ガバナーはキャビネットの運営に新しい手法を取り入れ素晴らしい実績を残されました。これは高く評価され、未長く賞賛される事でしょう。

私も一昨年、香港国際大会において国際理事に就任以来一年半、様々な会議に出席、中でもライオンズの歴史上画期的事項であります中国(4年前より)にライオンズクラブが上陸し、素晴らしい発展を遂げている『北京』において初めての理事会が開催され、感激を致しました。又、この3月にジミー・M・ロス会長の出身地でありますテキサスに於いての理事会ではライオンズの将来展望が大いに審議され、本年度第90回シカゴ国際大会では、その全貌が姿を現し、動き出す事を期待されます。

この90周年を期に100周年へと大きく変貌しようとする国際協会がその為の課題が盛り沢山上程され、私達も社会の変化に合わせた奉仕やクラブ活動を国際協会の意図する展開にシフトする必要性を痛感致しております。

昨年度から開始された『CSF II』や『会員増強』については、ジミー・M・ロス会長も強力に推進され、特に地球規模的奉仕である『河川失明症』の撲滅作戦は日本ライオンズの真価を発揮する絶好の機会でありますので、この大きなプログラムを是非、皆様の御協力を頂き、成功させたいと考えております。

本日この大会が皆様方の奉仕精神を更に奮起させ、他の市民の方々にも奉仕の尊さを知らしめる又とない機会であります。

最後になりましたが一年間、この大会開催に心血を注いで御尽力された大会役員の方々に満腔の敬意を申し上げ、今後益々貴地区が発展されます事を御祈念申し上げ祝辞と致します。

国 際 理 事

伏 見 龍

祝 辞



栄えある貴年次大会が盛大に開催されますことに、心よりお喜び申し上げます。皆様方のこの一年間のライオニズムに対する情熱と努力の成果が本日の年次大会に結集され、このように立派に報告されますことは、次年度へのステップとしてひとつの大切な区切りであると信じております。

日本はライオンズクラブ国際協会において非常に重要な地位を占めています。これも皆様方の日々のライオニズムに対するご理解とご協力の賜物と感謝申し上げます。

私は2005年～2007年の国際理事として、現在、執行委員会と長期計画委員会、国際大会委員会の3つの委員会に所属しています。国際会長をはじめとする執行役員と会合を持つ機会が多くあり、1ヶ月に一度は海外に出かけております。執行役員会会議に参加するたびに常に感心するのは、どの執行委員も世界におけるライオンズクラブのあり方を現実と夢を織り交ぜながら真剣に考え、大変前向きな発想で会議に取り組んでいることです。

200カ国、130万人のクラブ会員を一つの方向に向かって動かすにはかなりのエネルギーが必要です。それが難なくスムーズに行われています。これは執行部の強力な指導力によるところが大きいのですが、実は各クラブのメンバーが本部の方向性を理解して、一致協力して動いているからこそなのです。ライオニズムの精神そのものが、本部から世界の隅々の単一クラブまで浸透しているからこそ成し遂げることができるのです。それがライオニズムのよいところであり、宗教、民族、政治に関わらず人の為に尽くすことが、『We Serve』というスローガンに集約され、人間本来の持つ博愛の精神を奮い立たせるからだと信じます。

人の喜びを知り、それを自己の喜びとするこの気持ちがある以上、ライオニズムは永遠と信じます。本日の記念すべき年次大会を基点として、さらなるライオニズムの高揚をご祈念申し上げ、本日のお祝いの言葉とさせていただきます。

国 際 理 事

山田 實 紘

祝 辞



第53回330-A地区年次大会が多数の熱心な会員の皆様の出席のもと盛大にそして厳粛に執り行われますことは、洵に喜ばしく衷心よりお祝い申し上げます。

ライオンズクラブが誕生して89年が経過し、今年7月には記念すべき第90回国際大会がライオンズ発祥の地であるシカゴで開催されますが、その長い歴史の中で当然のことですが我々を取り巻く環境はその時々の経済、社会情勢の中で大きく変化し影響を受けております。

そしてまた我々ライオンズに求められるニーズも多様化し刻々と変化しておりますが、我々がそしてクラブがこの状況に対応して的確な活動をそれぞれの地域で展開できているかということについては、活動のマンネリ化、会員の減少傾向などを考えるとまだまだ充分とはいえない状況です。

この現状を見据え、ジミー・M・ロス国際会長は、ライオンズクラブの活動の原点である『We Serve』を今年度の会長プログラムに、クラブの刷新と奉仕の拡大に向けてそれぞれの地域社会に適合した方法を模索し、実行することの必要性を認識し、奉仕活動を見直し、会員増強に向けて独自の目標を打ち立て実行するようあらゆる機会を通じて訴えてきました。つまり新たな発想と方法による自らの『改革』です。

これを受け、この一年間皆様は森山ガバナーの卓越した指導のもと、今何ができるかを考え、地域の人々とともに手を携え一步一步前進し、素晴らしい成果を挙げられたこと、また2年目を迎えたCSFⅡも順調な推移を見せていることに対し深甚なる敬意を表したいと思います。

本日のこの意義ある330-A地区年次大会を契機とされまして輝かしい未来に向かって貴地区が更なる発展そして飛躍をされますことを信じてやみません。

“どうぞ誇りと自信を持って『We Serve』を実践してください。”

最後になりましたが、会員および家族の皆様そしてご参会の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈りして本日のお祝いの詞といたします。

国 際 理 事

谷 野 徹

祝 辞



ライオンズクラブ国際協会330-A地区第53回年次大会を盛大に開催され、心からお慶び申し上げます。この一年間森山勇地区ガバナーを中心に大きな成果をあげられ、誠に素晴らしく、敬意を表します。貴地区の皆様には、CSFⅡに多大のご協力を賜り、CSFⅡ国際委員として厚く御礼申し上げます。

さて、今般皆様よりのご支持をいただき、2009-2010年度国際第二副会長に立候補することを決意致しました。90年の歴史を持つライオンズクラブをより一層発展させるため、持てる力のすべてを尽くしたく皆様のご支援をお願い致す次第です。

ライオンズクラブは、今や大きな節目にあると言えます。それは、一つの価値観からより多様な価値観へと開かれたライオンズクラブへの転機であり、又病める人間社会はもとより、病める地球そのものにどう対処するのか、今日的問題から逃避することなく、立ち向かわなければならぬ時だからであります。

ライオンズクラブには、奉仕活動で他人に尽くすことにより、自分自身の人生をより昇華させてくれる素晴らしさがあります。更に、私が中学時代に出会ったヘレンケラー女史の訴えに始まる、失明との戦いの成果があります。あの三重苦のヘレンケラー女史の姿を思う時、私は、自分の足らざるを知りつつも、世界のライオンズクラブのリーダーへの道を進むことに天命を感じました。

皆様のご支援により、日本の真価をCSFⅡと、国際大会の投票で示していただけるならば、かならず実現すると確信しています。どうか皆様の暖かいご支援と行動をお願いします。結びに、この年次大会のご成功を祈念し、お祝いの言葉といたします。

元国際理事・CSFⅡ国際委員
第二国際副会長立候補予定者

福井 正憲

祝 辞



陽春の候、ライオンズクラブ国際協会330-A地区第53回年次大会が厳粛且つ盛大に開催されますこと、心からお慶びを申し上げます。

年次大会はこの一年間、森山ガバナーの掲げられたテーマ『原点回帰・改革と革新のWe Serveで明るく、楽しく、元気よく』の下、各クラブとメンバーの皆様が様々なご苦勞をされ、築き上げられた御努力の成果を顧みて、更に明日の糧とする重要な大会であります。

本大会では、昨年を上回る数多くのクラブとメンバーに対するアワードの贈呈がされると伺っております。このことはそれだけ多くの成果を残された証であり、森山ガバナーに心より敬意を表します。

また、キャビネット運営の透明化とクラブ主体のアクティビティを提唱され、それを確実に実践されておられることに対しても賞賛を贈るものであります。

結びに、貴地区の益々のご隆盛と本日ご参会の皆様のご健康とご多幸を心よりご祈念申し上げお祝いのことばとさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

330複合地区ガバナー協議会議長
前地区ガバナー・名誉顧問会議長

中村保寿

祝 辞



新緑も日に日に色が濃くなって参りました。
ライオンズクラブ国際協会330-A地区第53回年次大会が開催され、本日厳粛な式典が举行されますことを330-B地区のメンバーを代表いたしまして心からお祝い申し上げます。

昨年7月、ボストン国際大会での就任から早や一年を迎えようとしています。ただただ地区のためメンバーの方々と共に無我夢中で責務を全うすべく努力し、後を省みる間もなく突き進み年次大会を迎える今、振り返れば万感の思いで胸が熱くなるのは森山勇ガバナーにおかれましても同様と存じます。テーマに掲げられた『原点回帰・改革と革新のWe Serveで明るく、楽しく、元気よく』に向かって、森山ガバナーはA地区の羅針盤として精力的に行動され、メンバーの皆様から厚い信頼を得られましたこと大いに敬意を表す次第でございます。

今期ジミー・M・ロス国際会長の『われわれは奉仕する』、まさにライオニズムの府そのものを謳ったテーマにわれわれガバナーとしては幅をもった活動が出来たように思いますし、それはつまり具体的にクラブの意欲・増加・強化・活力の促進を求められたものであり、森山ガバナーもあらゆる方向からモチベーションの高揚を試みられたものと拝察いたします。又、国際協会要請のCSF IIキャンペーンにも果敢に取り組まれ、その成果を次期ガバナーへバトンタッチする準備も万端整ったところでしょうか。

今、ライオンズの変革・刷新が大きく叫ばれています。変化にいかにか柔軟に対応できるか問われていますが、今期森山ガバナーの獅子奮迅のご活躍がライオンズの理想像に繋がっていきますことをご期待申し上げますとともに、この集大成である年次大会が森山ガバナーによって見事な大輪の花となったことをお慶び申し上げます。

貴A地区の皆様が一同に会された今日この日を節目に、大きな志を持って更に飛躍していただきたく、今後のご発展と併せて貴地区メンバーの皆様のご健勝をご祈念申し上げまして祝辞の詞とさせていただきます。

330-B地区ガバナー

高 部 保 郎

祝 辞



この度は、ライオンズクラブ国際協会330-A地区第53回年次大会が開催されますこと心からお慶び申し上げます。

年次大会は、1年間の皆様のご努力と成果を顧みる大会であり、また新年度方針などを決める重要機関であります。

森山勇ガバナーの人情味溢れるお人柄は、暖かさと強さが感じられ、年次大会テーマを『原点回帰・改革と革新の WE SERVEで明るく、楽しく、元気よく』を掲げておられますが、真に人の気持ちを大事にされたものではないかと思いました。そしてA地区のステータスを重んじ、更なる躍進を成し遂げた森山勇ガバナーは同期のガバナーとして誇りに感じております。

本年度 ジミー・M・ロス国際会長は、『われわれは奉仕する』をテーマにしライオン指導者にクラブの意欲、増加、強化、活力を推進させるよう求めています。特に会員増強については、世界的に会員の減少等の問題を抱え足踏状態であり地道な会員増強、そして地区運営を行わなくてはならないと考えております。地区発展のため一致団結で『We Serve』を実行していく事が必要と実感しています。

結びに330-A地区が益々のご発展、ご活躍をされますよう心からご祈念申し上げますと共に330-C地区に対しましても変らぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い致します。祝辞とさせていただきます。

330-C地区ガバナー

大熊泰雄

御 来 賓 名 簿

常 陸 宮 殿 下 常 陸 宮 妃 華 子 殿 下

財団法人 癌研究会	常務理事	小笠原	繁	様
特定非営利活動法人 日本ガーディアン・エンジェルス	理 事 長	小 田	啓 二	様
社団法人 東京都障害者スポーツ協会	副 会 長	足 立	房 夫	様
江東区立 明治小学校	校 長	平 田	廣 志	様
アザン ビン ケイス 私立学校	校 長	スワーダ ^ダ モハメド ^ド アブドゥラ ^ラ アルムダ ^ダ ファーラ ^ラ		様

国 際 理 事	L	伏 見	龍	
令 夫 人		伏 見	知 子	様
元国際理事・CSFⅡ国際委員 国際第二副会長立候補予定者	L	福 井	正 憲	
元 国 際 理 事	L	矢 部	四 郎	

330-B地区 ガバナー	L	古 郡	保 郎	
330-C地区 ガバナー	L	大 熊	泰 雄	
330-B地区 副地区ガバナー	L	牧 田	健 一	
330-C地区 副地区ガバナー	L	金 子	正 之	
330-B地区 キャビネット幹事	L	矢 部	祥 榮	
330-B地区 キャビネット会計	L	水 知	晴 美	
330-C地区 キャビネット幹事	L	岩 渕	清	
330-C地区 キャビネット会計	L	山 口	一 夫	